



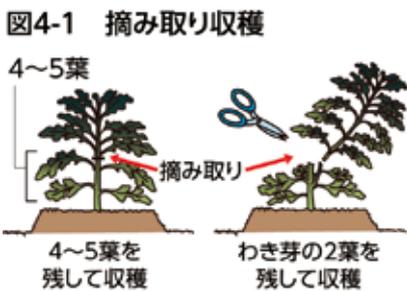
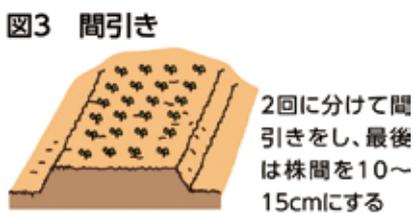
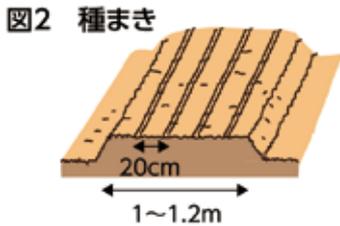
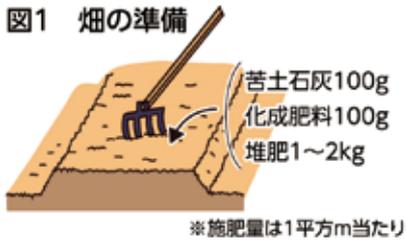
あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

シュンギク 収穫後に花も楽しもう



シュンギクの生育適温は15〜20度と冷涼な気候を好み、春（3〜6月）と秋（9〜11月）が栽培適期です。カロテンの含量が多く、ビタミンC、カルシウム、鉄分なども豊富です。

【品種】シュンギクの種類は、葉の大きさや切れ込み方により、大葉種、中葉種、小葉種に大別されます。大葉種は葉が大きく、切れ込みは浅く、えぐ味が少なく、「おたふく春菊」（中原採種場）、「菊之助」（タキイ種苗）などがあります。中葉種は切れ込みがあり香りが強い品種で、株立ち型では、「さとゆたか」（サカタのタネ）、「きわめ中葉春菊」（タキイ種苗）など、株張り型では、

「菊次郎」（タキイ種苗）などがあります。

【畑の準備】種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、深く耕しておきます。1週間前に化成肥料（NPK各成分約10%程度）100gと完熟堆肥1〜2kgを散布して土と混ぜ（図1）、ベッド幅1〜1.2mとし、高さ5cm程度の平畝を作ります。

【種まき】条間20cm、深さ5mm程度の浅いまき溝を4条切り、1cm間隔で種まきします（図2）。好光性種子のため、覆土はごく薄く掛けます。種まき後、十分に灌水し、発芽まで乾燥させないこと。また、幼苗を保護するために不織布をべ

た掛けすると良いでしょう。

【間引き・追肥】発芽後、本葉2枚までに3〜4cm間隔に間引き、株元に軽く土寄せします。この後、本葉5〜6枚の頃に、10〜15cm間隔に間引き、1平方m当たり化成肥料50gを株元にばらまき、土寄せします（図3）。

【収穫】中葉種の株立ち型は、草丈が25〜30cm程度になったら、葉4〜5枚を残し、摘み取り収穫します。以後、伸びてきたわき芽の葉を2枚残して切り取ります（図4-1）。株張り型と大葉種では、草丈が20〜25cm程度に育ってきたら、株ごと抜き取るか、株元から刈り取って収穫します（図4-2）。なお、春に咲く黄色い花は美しいので、株を残しておきましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

好評
発売中

園芸書 コーナー

家庭菜園の初心者から上級者まで、幅広い方におすすめの園芸書をご紹介します。野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!

NEW

家庭でできる おいしい柑橘づくり12か月

発売中 定価：1,540円(税込)

月ごとの具体的な作業内容や栽培のコツをわかりやすく解説した、柑橘栽培の入門書!庭植えと鉢植え、両方の育て方が分かる。剪定方法もイラストで紹介、「果実がならない」などのお悩み解決Q&Aもあります!

栽培の難易度が★の数で確認できます。



温州ミカンや夏ミカンのほか、人気のレモンや最新品種のポメロなど88種類を掲載。



お近くのJAへお申込みください。家の光図書館の情報はインターネットでもご覧いただけます。

家の光ネット

<http://www.ienuohikari.net>